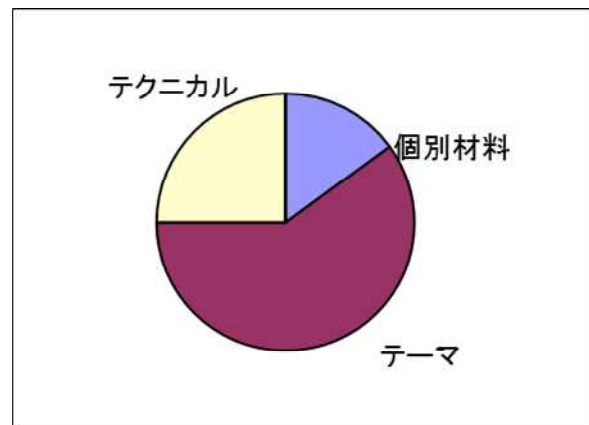


フィスコ全体での戦績 6勝1敗（予想中9）

6月のパフォーマンスは勝ち越し。日経平均は20日には20300円を回復する場面をみせた。米国市場では相場のリーダー役であるフェイスブック、アマゾン、ネットフリックス、アルファベット（Google）の「FANG」銘柄の底打ちがみられたことなども安心感につながる要因に。

個別では、AI関連銘柄として市場の注目を集めたシグマックス<6088>がおおよそ+40%、RIZAPグループ傘下の企業の1つとして関心を集めた夢展望<3185>で+20%超など良好なパフォーマンスとなった。



勝率の高い要因

小林 大純 戦績3勝0敗 予想中1銘柄

■6月の振り返り

6月の新興市場ではマザーズ指数が上昇ピッチを速めたが、23日に取引時間中の年初来高値1214.41ptを付けると過熱感もあって調整した。取り上げた銘柄では、好業績のAI（人工知能）関連株であるアトラエ<6194>の再動意や、フィンテック関連として人気が続くインフォテリア<3853>のリバウンドを捉えた。また、高成長の介護関連銘柄としてインターネットインフィニティー<6545>も取り上げた。

■7月の戦略

業績が急拡大している直近IPO銘柄としてGameWith<6552>、出遅れゲーム株としてマイネット<3928>を選定済み。今月下旬から4-6月期の決算発表が本格化するため、今後は業績面の再評価が期待できる銘柄を中心に選定する。各種報道などを手掛かりとした短期トレーディング銘柄も取り上げたい。

村瀬 智一 戦績0勝0敗 予想中4銘柄

■6月の振り返り

ヤマシンフィルタ<6240>は米トランプ大統領の米国第一主義のなかで、世界シェア首位のろ過用フィルタ等の需要増に期待していたが、株価は横ばい推移を続けている。三菱UFJ<8306>は米金融政策への思惑から注目。足元では調整をみせているが、25日線レベルからの切り返しに期待。ミクシィ<2121>がゲーム株の出遅れとして注目したが、世代交代を感じさせる動きが続いている。東海カーボン<5301>は強いトレンドが継続。

■7月の戦略

決算シーズンとなるため、業績を手掛かりとした個別対応が中心になりやすいと考えられる。テーマ性では半導体関連やゲーム関連、セキュリティ関連のほか、猛暑関連などのシーズンストック的な銘柄への関心も向かいやすいと考えられる。日経平均が2万円固めからトレンドが強まるようであれば、中小型株から主力株へのシフトも想定。

田代 昌之 戦績1勝1敗 予想中2銘柄

■6月の振り返り

1勝1敗と可もなく不可もなくという結果となった。6月相場は日経平均が年初来高値を更新したものの、20000円から上は重く大型株は手掛けにくい展開となった。一方、中小型株の商いが活況となりマザーズ市場の銘柄が動意付く格好に。仮想通貨関連や、ゲーム関連など高いテーマ性を有する銘柄に関心が向かった。

■7月の戦略

小売業の決算発表がメインとなる一方、引き続き売買材料に欠ける展開となりそうだ。商い増加が期待できないとなれば、関心は引き続きマザーズやJASDAQ市場に向かおう。九州の大雨による被害などを受けて、地盤に関する関心は高まると想定。梅雨明け宣言もないなか関東地方は猛暑が到来していることから、サマーストック関連に注目したい。

若杉 篤史 戦績2勝0敗 予想中2銘柄

■6月の振り返り

6月始めに予想を開始したシグマックス<6088>が、AI関連銘柄として関心を集めおおよそ+40%のパフォーマンスとなった。オルトプラス<3672>もストップ高をつけるなど短期で良好な値動きを見せたが、利益確定のタイミングを逸している。期待材料は豊富な銘柄だけに注視を継続。その他、夢展望<3185>も短期で20%超の値幅が取れるなど6月は総じて高いパフォーマンス。

■7月の戦略

決算発表が本格化してくるため、好業績銘柄を追っていくことを中心に、個別材料株などもいつも通り選別したい。6月に良好なパフォーマンスとなったこともあり、予想が長引いている銘柄を一旦クローズする動きも進める。